

平成21年度 第13回 理事会議事録

日 時 平成 22 年 1 月 14 日 (木) 午後 8 時～午後 10 時
場 所 ホ号棟管理組合集会室
出席者 理事 (14 名)、監事 (2 名)、地域 (1 名)、タマリバ委 (1 名)
山下設計 (辻村)

1. 協議事項



(1) 多摩川住宅【街づくり（地区計画）準備会】

- ☆ 「地区計画」策定に向けての「手順」の確認。
 - ◎ 「地区計画」(案)は【目標】【方針】【地区整備計画】などを組合わせて行政に提出
 - ◎ 【目標】【方針】については包括的表現
 - ◎ 【地区整備計画】については具体的内容となる。
 - ◎ 複数単位会がある多摩川住宅の【地区整備計画】は今後の住宅建設のモデルケースとしての意味もあり、取り組み方を検討。
- ☆ 多摩川住宅の「地区計画」策定に向けホ号棟の意見集約が必要。
- ☆ 街づくり準備会ニュース (第 3 号) 発行
- ☆ 第 3 回勉強会を受け、地区整備計画などを視野いれて、住民発意のまちを創るための理念、施設、設備など基本的検討案を役員会に提起各単位会で 2 月までにまとめていく。
- ☆ 第 4 回勉強会はその基礎的検討案を受けて 3 月を目処に開催するよう進めていく。
- ☆ 5 月は各単位会の定期総会があり、全体的にそこで準備会の方針を確認していきたい。



(2) 調布市都市計画マスタープラン

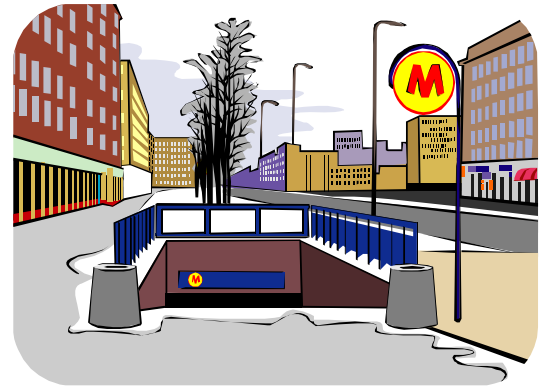
- 調布市基本計画の目的、重点的取組などを説明。
市民検討会最終案について、街づくり PKO 法人を交えての調整が計画された

が、現在までの検討会の経過からしても無理があり、出来上がった最終案でまとめる。

1月19日に市長に最終案を提出する。

(3) ホ号棟管理組合の取組

- ☆ 各棟での懇談会の開催。
今後の取組みの意見交換、住民主導、住民参加意識の向上を計る。
- ☆ 四部会（都市計画、事業計画、建築計画、事業推進）の四部会の設置、居住者の積極的参加を計る。
- ☆ 具体的な組織づくり
 - ① 部会設立の理事会承認、
 - ② 階段委員会に各棟別懇談会を提案
 - ③ 2-3棟を1グループとして棟別懇談会を開催
 - ④ 部会の組織及び活動について総会に諮る。
 - ⑤ 総会後に第一回部会のスタート
- ☆ 階段委員会(2月7日)で問題提起、徹底する。



(4) 平成22年度にむけた管理体制について

- ☆ 臼井事務局長の体調を考慮し、当面井上理事を事務局長代行とする。
- ☆ 任期満了に伴う理事会の体制確認、
藤野理事長、青木副理事長は「街づくり準備会」の任務を引続き継続。
- ☆ 建替え検討会の強化、そのための委員募集をする。
- ☆ 階段委員会で自棟の理事選出を確認の要請。

(5) 第3回Nゲージ鉄道模型公開運展開の開催

平成22年1月 23日(土) 14:00-18:00
24日(日) 10:00-16:00

染地幼稚園ホールで開催する。

要員補助に理事が参加する。



(6) 平成21年度確定申告相談会

平成22年1月30日(土)開催、場所 ホ号棟集会室

午前 10:00-12:30

午後 13:30-16:00

予約制・無料

(7) 一橋大、日大、上智大共同のマンション研究会

12月17日、国際フォーラムで行われた研究会に理事会より4名が出席。事前に理事会議事録、調布市との折衝経過、公社との協議会内容など資料を提起し、当日は40分にわたり具体的説明をした。この会には国交省の担当者も出席、各教授から種々質疑などされ、適宜回答した。

当日の状況から、住宅団地、特に大規模団地の問題解決への調査が始められた傾向で、その点ではかなり参考になったと推察される。
今後もしこうした機会にはできるだけ対応したい。

(8) 給水塔関係

これまで給水塔の管理は公社に依頼してきたが、見直しすべきこともあり、文書で申し入れを行う。あわせて、管理費月額126,000円についても協議する。1月18日以降公社と打合せを行う。

2. 報告事項

① 会計月例報告

2月には新年度予算策定が始まり、各担当理事は検討に入る。

② 焼いも会報告

12月20日(日)開催 さつまいも 250本販売
次回からさつまいも納入業者が変更

③ 餅つき会報告

12月27日(日)開催 もち米 30kg(11臼)をつく。
約250人参加

④ イルミネーション点灯

12月1日～1月7日(クリスマス、大晦日、三が日はオールナイト点灯)

⑤ 地域活動委員会の報告 — 別掲 —

⑥ タマリバ委員会の報告 — 別掲 —

⑦ 各担当理事からの報告 — 別掲 —

